

リサイクル通信

2004.10

ゴミはどこから？

みなさんのご家庭からは毎日のようにゴミになるものがでていくことと思います。食事ごとにでる生ゴミやビニールゴミ。お菓子を食べても袋はゴミ。身の回りのものでいらなくなればやっぱりゴミ。ゴミの日ともなれば集積所には山ができていきます。どこの町でも毎日、毎日、収集車が走り回りゴミを回収しては、清掃工場（当市はクリーンセンターです）に運び込み処理されています。

毎日出る物以外でも我々は色々な物に囲まれて生活しています。自分に必要がなくなれば不要品となります。でもそれを必要とする人もいると思います。捨てるのは最後にし、とりあえずリサイクルショップに持っていったみてはいかがでしょうか。本来であればゴミになるはずが、再利用リユース（さ）れます。本棚や机・タンスに衣類や本など、まだまだ立派にリサイクルショップの店頭を飾ります。これでゴミとなるものが減りました。塵も積もれば山となる、でひとつずつ減らしていきましょう。



ゴミはゴミのままなのか？

さて、ゴミはどのようなものになるのでしょうか？家庭の生ゴミは燃やされています。その燃やした時に発生する熱で蒸気タービンを回して電気を作っています。プラスチックごみは圧縮固化し、燃料に変わります。空き缶はアルミとスチールに分けられます。アルミ缶はまたアルミ缶に、スチール缶は、ビルを建てる鉄筋になったり、生まれ変わって活躍しています。

そのままでも再利用できる物は再

利用する。形を変えて生まれ変わる物もあれば、どつしてもゴミとして埋め立ててしまう物もあります。素材ごとの分別ができればリサイクルしやすくなります。しかし、残念なことには身の回りの物は複合素材からできていて、簡単には素材ごとに分離できません。ネジで留まっていたり、ボンドでついていたたり、ぬいつけてあったりしているからです。

また、プラスチックのように同じに見えても、ポリエチレン（PE）ポリプロピレン（PP）等のように多品種にわたるものがあります。このようなものは、リサイクル（マテリアル）するために、細かく分類されていること、きれいな状態であることが必要になります。この条件が揃って初めて素材別リサイクルができます。

ご家庭でもプラスチック製品の成分表示を見ていただくとうわかれると思います。同じような物でも異なる種類のものがあるということが。

分別をしましょう

一番基本的な分別作業というと、家庭のゴミでしょう。各自自治体により分別方法は異なりますので確認してみてください。ここ所沢市では専

一般廃棄物と産業廃棄物

家庭から出るゴミは一般廃棄物。企業から出るゴミは産業廃棄物。同じ形をしているゴミでも法律上はまったくの別扱いとなります。ご注意ください。

用の大きな分別ポスターがあり、それに細かく書かれています。別ければ資源、混ぜればゴミ。まさに混ぜてしまうことがリサイクルをより難しいものにしてしまいます。ゴミは廃棄物ですが出す人の手によって簡単に資源に生まれ変わるものなのです。家庭でも会社でもゴミ箱にかまわず捨てるのではなく、いくつかゴミ箱を用意して種類別に捨てるということをして初めてはいかがでしょうか。それがきつとりサイクルへの第一歩になります。

長沼商事株式会社

埼玉県所沢市林 1-306-7